

四日市市長コメント

本日、国土交通省中部地方整備局から、今後、5か年の目標や事業規模等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」が示され、中部ブロックでは、新たに7事業の開通見通しが公表されました。

本市に関係する部分では、国道1号北勢バイパスの市道日永八郷線～国道477バイパス間の令和6年度開通と中勢バイパスの令和5年度全線開通の予定が盛り込まれ、国道1号、国道23号とのダブルネットワーク化の実現に向け、大きく前進することに、本市にとって非常にありがたいことと考えております。

南北主要幹線道路のダブルネットワーク化により、渋滞の解消が図られるとともに、災害時・交通事故等による通行止め時のリダンダンシーが確保されることになり、今年度から事業着手されるバスタプロジェクトも含め、市内外の交通環境が劇的に向上するものと期待しています。

また、安定的な物流交通が確保されることで、すでに公表されている東海環状自動車道の令和8年度の全線開通とあわせて、本市の広域物流ネットワークが飛躍的に向上することになります。

国際拠点港湾四日市港を有する本市では、霞ヶ浦地区国際物流ターミナル81号岸壁が令和7年度の完了に向けて今年度から整備が進められることになっており、みなとまち四日市の更なる発展に繋がるものと確信しています。

四日市市としても、北勢バイパスの事業推進に協力していくとともに、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」で示された事業が計画通り進めることができるように、引き続き要望していきたいと考えています。

令和3年4月27日
四日市市長 森 智広